



# 世界へのプレゼントになろう

週報

2015~2016 年度 RI 会長

K.R. “ラビ” ラビンドラン

RI 第 2730 地区ガバナー

野中 玄雄

鹿児島市内分区ガバナー補佐

内村文泰・日高文治

## 鹿児島東南ロータリークラブ

会長 飯野 和男 副会長 東 則秋 幹事 中馬敏之

(例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020

(事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622

E-Mail [info@tounanrc.jp](mailto:info@tounanrc.jp) ホームページ <http://www.tounanrc.jp/>

第 2275 回

No.42

平成 28 年 6 月 7 日 (火)

本日のプログラム クラブ協議会

地区協議会報告

6 月 お誕生日おめでとうございます。

山田忠茂君 (22 日)

6 月 結婚記念日おめでとうございます。

大石裕一郎君 (5 日)

## 第 2274 回例会報告

### 会長挨拶

会長 飯野 和男



先週福祉専門学校の授業で松下幸之助翁の話をいたしました。題は“学ぶ心”でした。少しご紹介いたします。御存知のく学ぶ心さえあれば、万物すべてこれわが師である。語らぬ石、流れる雲、つまりはこの広い宇宙、この人間の長い歴史、どんな小さいことにでも、どんなに古いことにでも、宇宙の摂理、自然の理法がひそかに脈づいているのである。そしてまた、人間の尊い知恵と体験がにじんでいるのである。これらのすべてに学びたいというくんだりでしたが、松下電器、ナショナル、パナソニックと社名をかえ世界の電気機器メーカーの創業者をしらず、松下電器もましてやナショナルも 18~19

才の学生には遠い昔のことで松下翁も御存知ないと唾然としました。パナソニックは知っていましたが携帯電話のメーカーと即答しました。翁の生い立ちについて時間をさくはめになり、ついでに土光敏夫さんの“二度とない人生”についても人間は宇宙の原理で生まれてくるわけだから、生まれてきた以上、各自がこの自分の一生をどう生きるかを真剣に考えるべきだろう。自分の一生だもの。二回ないのだからね。と話しました。この学生達は歯科衛生士で老人ホームや、診療所、介護施設に行き直接人と関わることになり仕事につきます。少しでも人の気持ちが変わり、奉仕について自分の判断でサービスしてあげているという心を持たせないように自分はこの人達に為になっているということをおわかってもらいたいつもりで授業を終わりました。貢献とはなかなかむつかしいものです。

### ゲスト・ビジター紹介

今回はいらっしゃいません。



## 会務報告

●来月の理事会は、6月14日（火）に新旧合同の理事会となっております。理事の皆さんはよろしくお願い致します。

●東年度の活動要覧（アッセンブリー）の原稿作成依頼の文書を各委員長へ依頼してございます。原稿は6月14日までに事務局へFAXもしくはメールにてお送りいただくか、例会時にご持参くださいますようお願い致します。

●6月28日（火）の例会は、夜間例会を天文館ピーファーズで行います。案内は後日お送り致します。お昼の例会はございませんのでご注意ください。

●青少年交換応募チラシを配布しております。

## 出席報告

会員数	24名	前々回出席者	15名
出席免除	3名	メイクアップ	6名
出席会員	15名	出席訂正率	100%
出席率	71.4%		

## スマイル報告

今回は、ございません。

本日計 0 円 累計 432,200 円

## 本日のプログラム

クラブ協議会

地区協議会報告

副会長 東則秋

次年度会長 東則秋



## 広報委員会 井料 長敏



## 青少年奉仕委員会 中馬 敏之



## 次年度鹿児島市内分区ガバナー補佐 興津 立夫



## 社会奉仕委員会 川崎 芳明







\*\*\*\*\*

**理事会報告** 2016.5.31

出席者(敬称略) 飯野、東、井料、別府、上原、野井倉、中馬

1 プログラムについて

6/7 クラブ協議会 地区協議会報告

6/14 クラブフォーラム 次年度委員会協議  
12時～新・旧理事会

6/21 表彰  
亡くなった会員への黙祷

6/28 最終夜間例会 18:30～例会 19:00～懇親会  
場所:ビーファーズ 会費 5,000 円

(2016-17 東年度)

7/5 会長・幹事 新年度挨拶

7/12 委員会 活動計画

7/19 委員会 活動計画

7/26 模擬面接の勉強会卓話  
理事会 12時～

2 台北グランドパークロータリークラブとの姉妹盟約調印について

→次回理事会に継続

3 今年度の会計について

26人で予算組したが、24人分の収入のため赤字となる予定。

4 WF=国際財団活動資金(旧WCS)について

→次回理事会に継続

5 渡海谷(17-18)年度の幹事について

中馬会員(予定)。

6 熊本への支援物資について

・熊本へ出発後持参された他クラブのタオル類がホテル側と東南ロータリー事務局に置いてある。

・川崎会員からの5万円、毛利歯科クリニックからの募金26,600円、スマイルからの23,400円合計100,000円を

寄付する。

・支援先が見つかったから合計の10万円を渡す。

7 東年度の予算等について

① 干物と野菜(親睦)はどうか→例年通り行う。

② 26名で予算。

\*\*\*\*\*

国際ロータリーHPより。第107回ロータリー国際大会において、K.R.ラビンドラン国際ロータリー会長が、ポリオに打ち勝った自身の家族とロータリアンの話を紹介しました。



韓国で6月1日(水)に開催されたロータリー国際大会の最終日、K.R.ラビンドラン国際ロータリー会長が、30

歳でポリオに感染した自身の母親について、KINTEX 会議場(韓国、高陽市)を埋め尽くした聴衆に語りました。母親がポリオに感染したのは、ラビンドラン会長が11歳だったときのこと。母国スリランカで、ある朝に目覚めた母親は、体のだるさと息切れを感じました。座ろうとすると、足が動かないことに気づきました。ポリオウイルスがあつという間に神経系を侵し、足がまひしていたのです。すぐさま入院し、呼吸をするために「鉄の肺」に入れられました。医者からは、もう二度と歩くことも、人口呼吸器なしに生きることもできないかもしれないと告げられました。しかし、1963年当時のスリランカには、人口呼吸器を備えている病院はありませんでした。母親が入院した日の晩、ロータリー会員だった祖父は、自宅の居間でクラブ委員会の会合を開きました。仲間の会員たちは、ただなぐさめる代わりに、仕事の知識や人脈を生かして、人口呼吸器を確保するためにすぐさま行動を起こしました。銀行マネージャーだった会員は、政府の高官に電話をして、すぐに海外に送金できるよう計りました。スイス航空のマネージャーだったもう一人の会員は、人口呼吸器を輸送する手はずを整えました。こうして、翌日には人口呼吸器が病院に届いたのです。「当時のスリランカでは何もかもお役所主義でしたが、ロータリアンたちはこれを取り扱ったのです」と、会長は振り返ります。母親の入院生活は1年半続きましたが、徐々に回復し、退院時には歩行器を使って自身の足で歩くことができました。「53年前、おそらくロータリアンによってポリオから命を救われた最初の一人が、私の母だったのでしょ。以来、私たちは何百万という人の命を救ってきました」とラビンドラン会長。「今晚、母の息子として、



そしてロータリーの会長として、皆さまの前に立ち、ロータリーが「ポリオのない世界」という永遠のプレゼントを贈る日が近づいていること、しかもそれは、数年先ではなく、数カ月先かもしれないということを申し上げます」前日の本会議では、米国疾病対策センターのレベッカ・マーティン氏も「ポリオ撲滅が非常に近づいている」と述べました。この本会議の前には、ロータリーが3500万ドルの追加補助金をポリオ撲滅活動に投入しました。ロータリー史上最高となる43,000人の出席者を記録した今国際大会では、150カ国以上から人びとが集まりました。ラビンドラン会長は、会長として最後のスピーチで、ロータリアンであることの真の意味は何なのかを強調しました。「この地球上には、皆さんの懸命な努力のおかげで、より良い人生を送れるようになった人が大勢います。その人たちが私たちの存在に気づいていなくても、私たちの名前さえ知らなくても、それは問題ではありません。大切なのは、皆さんの活動が人びとの人生に触れ、それによって人びとがより健康で幸せになったことです」

次年度に目を向ける

ラビンドラン会長のスピーチに続き、会長の所属クラブであるコロンボ・ロータリークラブの会員と、ジョン・ジャーム RI 会長エレクトの所属クラブであるチャタヌーガ・ロータリークラブ（米国テネシー州）の会員が壇上に上がり、バナー交換を行いました。これは、会長の交代を非公式に象徴する伝統です。バナー交換の後、ジャーム会長エレクトは「ロータリー史上、最も進歩的な年度が始まろうとしている」と述べ、次のように続けました。「もっと若い世代、最近退職した人、現役の職業人にとってロータリーの活動がもっと魅力的となるよう、変化し、柔軟になることの必要性を、皆さんは訴えてきました。今年の規定審議会における画期的な立法案の採択は、その明確な意思表示です。（中略）.....クラブは、自分たちの理想とする姿を目指しながらも、その中核にロータリーの理念を持ち続ける機会を持つことができるようになりました。このニュースに世界中のロータリアンが心を躍らせています」

\*\*\*\*\*



ローターアクト・プロジェクト賞の受賞クラブが発表される

世界賞 プロジェクト名：  
1000 Smiles Project

Bugolobi ローターアクトクラブ（ウガンダ）

このクラブは当初、地域における HIV/エイズ問題を緩和するための活動を計画していました（同国では 1982 年に最初のエイズ感染が確認され、近年では国民の 12% が感染）。しかし、活動予定地の村を訪れたとき、問題が疾病のみではないことを知りました。村の惨状はクラブメンバーの想像を超えていました。村人は水不足に悩み、学校は粗末、医療センターは哀れな状態で、産科病棟にいたっては目も当てられない状況だったとクラブ会長のアニタさんは話します。医療キャンプでの活動においても、当初は患者 700 人を予期していましたが、開始すると 1000 人を超える人がやってきました。それでもメンバーは、他のボランティアやスポンサークラブの Bugolobi ロータリークラブと協力し、医療検査、歯科検診、薬の提供、避妊などの支援を行いました。また、産科病棟のベッドを新調し、生徒の多くが孤児である地元小学校にイス、机、備品、制服を提供。さらに、村の水不足を解消するための採掘作業をサポートしました。世界賞に輝いた Bugolobi クラブには、韓国でのロータリー国際大会で 500 ドルのプロジェクト資金が贈呈されます。クラブ会長のアニタさんは、この資金で瘻孔（ろうこう）がある女性をサポートしていきたいと、熱意を語ってくれました。

★記帳メーキャップ受付はございません。			
6/14(火) クラブフォーラム 次年度委員会協議 新旧理事会 12 時～		6/21(火) 表彰等	6/28(火) 最終例会
月/日	クラブ	例会場	プログラム(△変更)
6/8 (水)	鹿児島南	サンロイヤル	クラブフォーラム
	鹿児島西	山形屋	会員卓話
	鹿児島西南	ゆうづき	クラブ協議会
6/9 (木)	鹿児島東	サンデイズイン	クラブフォーラム
	鹿児島北	ワグランドビル	クラブ協議会
	鹿児島サザンクラブ	鹿児島東急 REI	クラブ協議会
6/10 (金)	鹿児島	山形屋	定例夜間例会
6/13 (月)	鹿児島中央	山形屋	会員卓話
6/14 (火)	鹿児島城西	鹿児島東急 REI	クラブ協議会